

# 下田小だより

平成30年 6月 1日 号  
文責 久留米市立下田小学校  
校長 平塚 宏子

## ～四季の風情を、五感で感じられる下田校区～

学校周辺の田んぼでは麦が黄金色に輝き、収穫間近です。澄み渡る青空からは、ヒバリのさえずりが聞こえ、穏やかな下田を象徴しているかのようです。四季の風情を感じられるこの下田校区は、本当にすてきな場所だと実感します。

今年も、大石公一様のご厚意で、1・2・3年生が「イチゴハウス」の見学と収穫体験をさせていただきました。また、校内において、1年生は「あさがお」、2年生は「ミニトマト・なす・キュウリ・ピーマン・枝豆等の夏野菜」、3年生は「ひまわり」と「ほうせんか」、4年生は「ツルレイシ」を育て、生長を楽しみにしながら水やりや観察を続けています。



また、昨年度、江頭前PTA会長やお父様、古賀PTA会長はじめPTAの皆様のご協力で、5年生児童の「米作り」体験のために、学校の敷地（プールの東側）に、田んぼを作っていただきました。今年はさらに少し拡張していただく予定です。6年生も、5年生時に植えたジャガイモを、理科の実験・観察で活用したり、1年生とペアで花の苗植えをしてくれたりしています。

学校だけではできない多くの体験を保護者や地域の方々のご協力のおかげでできることに、心より感謝申し上げます。

## 「たけのこ学級」「ひまわり学級」ってどんな所？

本校には、特別支援学級の「たけのこ学級」と「ひまわり学級」があります。

これらの学級は、その子のペースで個別に学習を進め、持っている力を高めたり、その子に合った適切な支援をしたりするために設置された学級です。

「たけのこ学級」「ひまわり学級」では、担任の下川先生や富久先生が、国語や算数を中心に、その子のペースや理解度を大切にしながら、学習を進めています。また、それ以外の教科は、学年の友だちと一緒に学習しています。保護者との話し合いをしながら、どの子も生き生きと学校生活を送ることができるように考えます。

「特別支援学級」とは…

- 自分に合った内容や方法で、個別に学習を進める
  - 友だちとの関わり方や困ったことの解決など、生きる方法を学ぶ
  - 自分の気持ちや考えを言えて、安心できる
- …など、その子に合った学習を保障していくための学級です。



41名の子どもたち全員が、「わかる楽しさ」「できる喜び」を味わい、安全で安心できる学校にするための大切な学級です。「たけのこ学級」「ひまわり学級」の丁寧な指導・支援のよさを他の学級にも広げ、下田小全体が、共に学び合う学校となるように、教職員も「特別支援教育」の研修を深めていきます。

## ～ 学校生活のひとコマ ～



【5/15 火災避難訓練でのスモーク体験】



【5/21 浮島小との交流活動】



【5/30 体力テスト「何m飛ぶかな」】